

飛騨市総合政策指針（案）についての意見と回答

【募集期間】 令和2年1月16日（木）～ 同年2月14日（金）

【募集結果】 41件（16名）

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
1	34 ～ 37	外貨を稼ぐことも大事だが、市内のお金を流出させず、循環させる施策があるとよいし、店舗の閉鎖削減になるのではないか。街の小売店に対する施策が無い感じがする。	市内にお金を循環させるためには、現在市外に出て行っている商品企画や広告宣伝、デザインなどのクリエイティブ産業を市内に生み出すことが必要であると考えます。このことから、36～37ページに記載しています「自ら起業する人の支援と仕事づくり」が重要であると考えています。 小売店等の対策については、店舗閉鎖の要因は人口減少による後継者の不在と需要の縮小にあると考えています。このことから、34～37ページに記載しております、商工会議所や商工会との連携、事業継続の支援、寄り添った経営・相談体制、ネット等を活用した販路拡大の支援を実施していきます。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
2	44	市営バスは平均乗車人員が1名以下の便が数多く見られ、企業（濃飛バス等）は運転手不足（第4回飛騨市公共交通会議）で対応できなくなるので「路線の新設や廃止等」だけでなく、いわゆる「ライドシェアの試行」も追加ください。	民間事業者との連携による新たな公共交通の仕組みについて、検討を始めたところであり、こうした取り組みは非常に重要であると認識しています。こうした認識を明示化するため、44ページに以下を追記いたします。 「（公共交通） ●市民・地域・事業者等との連携による新たな公共交通の仕組みづくりを推進します。」	指針に反映します。
3	44	富山～神岡～奥飛騨温泉郷の減便により休日の富山駅最終バスが14：10となり、神岡町住民の富山での買い物になります。そこで平日運行の市営バスを休日でも要望があるときに運行する「市営バスのデマンド運行の試行」を追加ください。		

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
4	38	観光パンフレットには富山方面からの公共交通によるアクセスが載っていません。観光客を増やす、滞在時間を延ばす、観光消費額を増やすために「観光客への公共交通（富山～神岡～奥飛騨温泉郷バス等）のPR」を追加ください。	観光パンフレットに関しては、紙面の制約があるパンフレットではどうしても記載できない内容が多いことから、今後順次デジタル化を進めるなかで周知を進めていく予定としております。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
5	38	雪不足により「ひだ流葉スキー場」、「飛騨かわいスキー場」とも経営的に非常に厳しい状態となっていることから、他との差別化し、通年型観光地を目指す「スキー場の今後の方向性の検討」を追加ください。	スキー場に限らず全ての市有施設については、32ページの「公共施設の管理運営」に記載のとおり、今後検討してまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
6	40	ハイパーカミオカンデ（二十五山）の着工により、「神岡に研究者や学生が住むようになる」と予想されます。しかしスーパーカミオカンデの時は神岡での「生活環境がよいとはいえない」ことから富山に大多数が住み「神岡地区に居住しているのは5名（12.5%）」でした（平成26年1月、飛騨市先端科学都市構想報告書）。その後は改善されていますが、一般移住者と異なるため「ハイパーカミオカンデ等研究者、学生への住・生活環境整備」を追加ください。	51ページに「政策の方向性」として「宇宙物理学研究の支援を推進」と記述しておりますが、ご指摘をいただいた、研究者や学生への支援については、この枠組みの中で推進しており、今後も大学等との連携を深化させ推進していくこととしています。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
7	45	「市管理の河川・水路施設において、洪水時の流下阻害となる箇所、護岸等の整備や施設の改修を進め、流下能力の向上を推進します」とありますが、国・県管理の河川については管轄外ということで記述がありません。しかし土砂崩れが河川を堰き止め市街地が水没時の被害は甚大です。神岡、古川市街地とも下流に川幅の狭い溪谷があり、ここが土砂崩れにより高原川、宮川を堰き止める可能性があります。市としても「河川堰き止め時の対応・国県連携の机上訓練の実施」を追加ください。	国・県管理の河川の整備については、45ページに「経済団体や飛騨地域3市1村で連携し、河川・砂防施設の整備や、治山事業など防災・減災対策について国県への要望活動を推進します。」と記載してあります。 なお、国県連携の机上訓練については、毎年1回実施しており、今後も連携して取り組んでまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
8	45	<p>現行の防災無線は、山間部では電波が届きにくく、聞きにくい場所が発生することや、大雨の時には屋外スピーカーの音声が聞こえにくいといった問題があることから「スマホへの防災無線重要内容の送信」を追加ください。また、スマホを持たない高齢者等に対しては、希望者へ電話がかかってくるpush型「電話・FAXによる災害時緊急情報配信サービス」（千葉県名称）を追加ください。</p>	<p>災害時の情報伝達は、これまでも様々な媒体を活用して実施しており、今後も更なる強化を図ることは非常に重要であると認識しています。こうした認識を明示化するため、45ページに以下を追記いたします。</p> <p>「②地域防災力強化の推進</p> <p>●災害・被災・避難等の情報をあらゆる媒体を活用し市民へ迅速に伝達するとともに、新たな伝達手法の検討を推進します。」</p>	<p>指針に反映します。</p>
9	35	<p>「スマート農業や遠隔医療など」→「スマート農業や遠隔医療・オンライン診療など」として「オンライン診療」を追加ください。</p>	<p>遠隔医療の一形態がオンライン診療であることから、オンライン診療を含む広義の遠隔医療という言葉を用いています。</p>	<p>指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。</p>
10		<p>雇用条件の改善</p> <p>① 国のキャリアアップ助成金制度を最大限利用して市役所関係も含め非正規雇用の人たちの雇用条件を抜本的に改善すること。</p> <p>② 福祉関係の指定管理者制度を止めて直営にすること。</p> <p>③ 保育園は原則市営にすること。</p> <p>④ その他市と契約関係のあるところは、公契約条例を制定して雇用の抜本的改善をはかること。</p> <p>⑤ 市は、民間企業と雇用改善契約を結んで企業を財政的に支援する方法や会社を通して働いている人に直接所得支援する方法など実体に即した方法で働く人の所得向上を図ること。</p> <p>⑥ 最低でも1時間当たり1200円以上にし、大都市部より賃金を2割以上高くすること。1日拘束時間を9時間以内とし、時間外労働は5割増しにすること。</p>	<p>① 国や市の各助成制度については商工団体を通じて市内企業に周知しています。市役所については、令和2年度より会計年度任用職員制度の導入により、従来の非正規雇用の方々の雇用条件については、制度趣旨に沿った適正な内容となる予定です。</p> <p>② ③ 施設運営や職員待遇において、従業者や利用者にメリットのある場合は、指定管理や民営化を検討します。</p> <p>④ 公契約条例が無くとも、適正な予定価格の設定、低入札価格調査基準の適切な設定等により適正な労働条件が確保されていると考えておりますが、より明確化するためにも令和2年度中の条例制定に向け、適正な労働条件確保など条例に盛り込むべき内容等については、今後、関係者からの意見聴取も含めて検討させていただきます。</p> <p>⑤ 市内全企業や全労働者に対する直接的な支援については財政的に困難と考えますが、積極的に企業訪問を行いニーズに即した支援を検討していきます。</p> <p>⑥ 公共職業安定所等と連携して、岐阜県最低賃金（851円/時間）の遵守はもちろんですが、それ以上の水準についても企業努力を促していきます。</p>	<p>指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。</p>

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
11		<p>財源について</p> <p>① 毎年、観光関係の予算を年 1 億円以上節約する。</p> <p>② ふるさと納税制度のある間は、この制度を集中的に活用するようにし、年 2 億円以上を捻出する。</p> <p>③ 当面、財政調整基金など積立金年 2 億円を活用する。</p> <p>④ 売電など自主財源確保の事業に取り組むなど将来的な恒久自主財源づくりも研究する。</p>	<p>① 観光産業については、経済的な側面はもとより、地域の活力を生み出す重要な産業であり、今後も適正な規模の予算計上を行い、パブリシティの獲得等を図り、選ばれる観光地づくりに努めてまいります。</p> <p>② ご指摘のとおり努めてまいります。</p> <p>③ 既に公表しているとおり、財政調整基金は 60～65 億円を今後とも維持する方針です。なお、その他の特定目的基金については、計画に沿った活用を行っており、毎年度 2 億円程度を活用しています。</p> <p>④ 現在、市では小水力発電の誘致による固定資産税の増を推進しており、こうしたこともあわせ、ご指摘のとおり努めてまいります。</p>	<p>指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。</p>
12		<p>子育て環境の充実</p> <p>① 結婚祝い金制度の創設</p> <p>② 子育て支援センターの役割拡大</p> <p>③ 保育園の充実</p> <p>④ 小学生から中学、高校くらい子ども達が自由にスポーツなどで遊べる場所や集まって語れる場の保障。</p>	<p>① ～ ④ 子育て環境の充実は、市の重要なテーマです。ご指摘の事項を含め、現状や課題を分析して、子育て環境の充実を図ります。</p>	<p>指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。</p>
13		<p>高齢者対策</p> <p>① 介護施設の増設と入所者の増加</p> <p>② 国民健康保険料の所得割の最高限度額を無くすくらいに限度額を大幅に引き上げること。また、均等割りを廃止し、子どもなど家族の多い世帯の救済を。</p>	<p>① 現在運営されている介護施設が閉鎖とならないよう、必要なスタッフの確保の支援を実施します。</p> <p>② 将来、県で保険料が一本化される見込みであることから、県の標準的な保険料率を基準に、保険料を設定します。</p>	<p>指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。</p>

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
14	44	公共交通で、北陸新幹線と JR 高山線との乗り継ぎで割引が適用されない。	JR 等については、現在も経済団体等と連携した要望等を実施しており、市としても重要な取り組みであると認識していることから、44 ページに以下を追記いたします。 「（公共交通） ●経済団体や飛騨地域 3 市 1 村で連携し、市民の利便性向上のための国・JR 等への要望活動を推進します。」	指針に反映します。
15	32・ 33	公共施設の非構造部材の防災対策について、目立たないようなネットを張ることで対応できないか。	今後の事業実施の段階で手法を検討してまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
16	45	断層調査については、地域の方と学生や教授と一緒に山を歩くなどで協力した取り組みができないか。イベントの様な仕立てでもよいと思う。 また、断層調査のためにはボーリング調査が必要だが費用が高額である。	断層調査事業を進める上で、市民への周知や協働は重要であると認識しており、今後の事業実施の中で検討してまいります。また、企業版ふるさと納税制度等を活用し財源の確保に取り組んでまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
17	全般	今回、市長・市議会議員選挙が無投票となったことから、民意の確認の意味でも、県が実施しているような市民アンケートを実施したかどうか。	今後の実施を検討してまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
18	41	地域のクリニックの人材確保対策は記載があるが、こうしたクリニックの人材確保以外の部分でも支援が必要ではないか。	市では飛騨市民病院のみならず、市内のクリニックなど医療機関等の人材確保や、それに伴う設備投資、診療体制の整備などの支援は非常に重要な課題であると認識しており、こうした認識を明示化するため、41ページに以下を追記いたします。 「医療・介護職等の人材確保や医療機関等の診療体制整備の推進 ●市内医療機関等の診療体制整備や設備投資等を支援します。」	指針に反映します。
19	44	市民の良好な住環境の整備を支援するとあるが、市民ではないが、市内高校等に通う学生や事業所に勤める方々が一時的に住む市営住宅の増築などが必要ではないか。	市では、進行する人口減少下において、これ以上の市営住宅整備は考えておりません。むしろ、増加している市街地の空き家を流動化させ、賃貸アパート等と同じように活用される仕組みを促進することが必要であると考えており、こうした認識を明示化するため、44ページに以下のとおり下線部分を追記いたします。 「②安心して暮らせる環境整備の推進 ●市民の良好な住環境の整備するとともに、 <u>空き家の流動化による利活用を促進</u> します。」	指針に反映します。
20	48	人を生かす創造力と能力について、皆が違う人間にあって、それぞれの興味の湧く事、それぞれの得意な事、それぞれの能力を持ち合わせている。得意を生かす事がポイントと信じています。永年、続けてきたことであり、そんなことは無理と考えるのが当然との思いもありますが、広島県では教育長を民間から迎えて着々と「ひとり一人を生かす」改革を進めています。未来が求めている人間はクリエイティブ（創造）とコミュニケーション能力と考えます。 容易ではないし時間もかかるとは思いますが、まずは意識改革から進めて頂きたいと思えます。新しいものを取り入れられるには、それを受け入れられる側の意識とレベルアップが必要と思えます。	まさに飛騨市学園構想の取り組みが目指すものであることから、今後も同事業を推進してまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
21	43	民生委員は児童委員を兼ねているが、児童委員として子どもに関わる相談や事案を抱える例はほとんど見受けられない。全国的にも子どもの6人にひとりが貧困と言われているが、飛騨市も例外ではない。そこで、①児童委員を広く市民に知って頂くこと。②児童委員に市の支援の必要な子どもの状況を知ってもらうこと。③必要に応じた繋ぎをして頂くこと。をお願いしたい。	民生委員・児童委員の活動は非常に重要であると認識しており、今後の取り組みの中でご意見の内容を検討してまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
22	48	飛騨市で育った20代の方に行事への参加し活躍できるような取り組みや、離れていても飛騨市からバースデーカードや結婚祝いの電報が届く、また、中学の思い出にタイムカプセル作りを促し、大人になって帰省して顔を合わせるきっかけづくりなどがよい。	若い世代の方が地域の行事に参加しやすい仕組みづくりなど、若者の市に対する誇りを醸成する取り組みを推進する中で、ご意見の内容を検討してまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
23	49	飛騨市市民大学（仮）は、公民館や学校等をサテライト会場としてテレビ会議形式で受けることができたらよい。又、地域の歴史を意外と知らないのが全国の一流講師の講義もよいが、地元の歴史や経済など地元の事も勉強できたらよい。	令和2年度以降の飛騨市市民大学の取り組みの中で実施を検討してまいります。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
24	39・44	YouTube等での情報発信もどこに住んでる人にも見れる事が便利だが、この地域に来ないと住んでないと見れない映像や地域の情報というものがあったらよいと思う。郡上市のCATVでは郡上高校の体育祭の応援団や、地元の昔話の紙芝居等だいたい1週間で変わる。ただ峠道を走る映像もあるが同じ市に住んでいる人でも行ったことがない道もあるから見てしまうと聞いた。郷土愛も育まれると思うし、高校生がニュースを読んだり地元貢献や活躍の場としてもよいと感じる。スマホでも撮れる技術があれば沢山のカメラマンが育つとも思う。郷土愛と地域を知るきっかけに地域の情報を沢山CATVで流しただけがいい。	広報・広聴業務は、市の重要な責務であり、力を入れている部分の一つです。こうした認識を明示化するため、44ページに以下を追記いたします。 「（広報・広聴） ●飛騨市CATVや広報誌、SNS等を活用し、市政の情報等を市民へ的確に提供するとともに、内容の充実を推進します。」を44ページに追記いたします。	指針に反映します。

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
25	35	<p>意欲低下を防ぐための鳥獣害対策に関して、有害隊員の語る会やヒヤリハットだったりを話し合える場があれば鳥獣対策の質を向上できると思う。また農家で被害に困っている方には罾猟の免許だけでもとって対応していただきたいと思う。例えば下呂市で昨年度銃の扱いによる死亡事故があったが、どんな事故でなぜそうなったのか？というような情報がすぐに入っていない。隊員の安全無くて質の向上は見込めない。新しい射撃場が日曜日しか空いていないのも大変もったいない。</p> <p>若手有害駆除隊員の勉強会や安全講習や県市含めた行政との意見交換など具体的な強化策を入れていただきたいです。</p>	<p>市では、狩猟免許取得者の高齢化を課題とし、これまで狩猟免許取得支援等により若手免許取得者の増加を図ってきました。また、令和2年度の有害鳥獣の捕獲推進事業の一つとして、若者など狩猟者の裾野を広げるため、狩猟免許取得方法をわかりやすく整理したPRチラシの作成及び配布を行う予定としています。</p> <p>ご意見をいただいた若手隊員の勉強会や意見交換会についてなど具体的な強化策についても、今後の取り組みの中で実施を検討することとし、こうした取り組みを明示化するため、35ページに以下のように下線部分を追記いたします。</p> <p>「①効率的な事業経営の推進 ●営農意欲の低下を防ぐため、<u>狩猟体制の強化と銃猟・罾猟を主とした捕獲技術向上の支援などにより鳥獣被害対策を推進します。</u>」</p>	指針に反映します。
26	全般	<p>文字の羅列で、読むこと、理解することが大変です。</p> <p>誰もがイメージできるように要所で図やポンチ絵などで示してほしい。</p> <p>「将来像実現のための基本姿勢」や「あんきなまちづくり」の観点からも、市民に伝わらなかつたら、政策指針を策定する意味がない。今回は無理としても、計画期間の早い段階で随時拡充してほしい。</p>	指針は行政が目指す方向を示すものですので、具体的な政策は毎年の予算編成の中で形作っていくため、市民の皆様には予算発表資料や市民との意見交換会等でよりわかり易く説明していきます。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
27	25～27	<p>◆3つの柱に細部分化することにより、より分かりやすく具体的な施策を繋がるのですが、「元気な」「あんきな」「誇りの持てる」はそれぞれ単独で存在しているのではなく、互いに関連しあい繋がって行く存在であることから、すべてが繋がっている（繋がって行く）ということを明言しておくべきことではないですか。</p> <p>3つの関連性を説明しておかないと、後の「政策の方向性」が執行の段階で誤った方向（縦割り）になりかねないと思います。</p>	「元気な」「あんきな」「誇りの持てる」はそもそも「元気で、あんきな、誇りの持てるふるさと飛騨市」を3つの柱に細部分化したものですが、3つの分野ごとに担当部局があるわけではないことから、分野で縦割りになることはありません。しかしながら、それぞれの分野の個々の政策においては、実際には3つの分野に重複してかかわる場合もあることから、各部局が連携して政策を進めることとしています。そして、政策の方向性が執行の段階で誤った方向に向かわないために、飛騨市の目指す将来像として「みんなが楽しく心豊かに暮らせるまち」を掲げているところです。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
28	28	<p>◆「将来像実現のための基本姿勢」の3項目を実行していくためには、多角的な視点が不可欠です。</p> <p>例えば、観光を農業の視点から捉えれば、キャンプに来た家族に朝取り野菜体験（休耕地を利用）ができるのでは。観光と雪まじ、ウォーキングを観光に繋げるとか。</p> <p>「異業種視点」「異業種コラボ」などキーワードとしての価値はおお大いにあると思いますので、この点も盛り込むべきと思います。</p>	<p>28 ページの「連携によるまちづくり」は、まさに様々な業種や分野の方々お互いに連携しあい、まちづくりを進めていくという姿勢を記載したものです。</p>	<p>指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。</p>
29	27	<p>SDGsの17の目標の内容が分からない（字が小さすぎて読めない）ので、目標ごとに解説を付けてほしい。市民が理解してこそ意味あるのでは。</p>	<p>この指針を作成するにあたり、SDGs の理念を意識したことを市民の皆様にご理解いただくためにアイコンを落とし込んでおります。それぞれのアイコンの具体の説明は、巻末の用語集に国ホームページへの誘導を追記します。</p>	<p>指針に反映します。</p>
30	34 ～ 51	<p>細分化すると縦割りの表現になってしまうことは仕方ないことだが、運用の段階で一項目だけが目的とならないよう配慮が必要。財政難と人手不足の中では、一つの事業でいくつかの目標を達成する、あるいは繋がって行くという方向性を持たせることが重要ではないか。先にも述べたが、一つの事柄を部や課を横断的に捉え、事業展開していく姿勢が不可欠だと思うので、この点も盛り込むべき。</p>	<p>1 つの事柄に対し、部局横断的に事業展開し対応していくことは非常に重要だと考えており、そうした意識を持って事業を展開してまいります。</p>	<p>指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。</p>
31	48	<p>飛騨市ならでの教育と環境整備ということで、農畜産物等を活用した「食育」を推進しますとある。一方、政策の方向性の地域資源を活かした産業づくりで、広葉樹や薬草が取り上げられていますので「木育」「薬草育？」も併せて推進すべきでは。誇りの持てる飛騨市づくりからすれば「食育」だけでは片手落ちではないかと思う。</p>	<p>全ての地域資源を活用した子ども達の教育については、飛騨市学園構想でも掲げる課題解決型人材の育成にも通じるところであり、市もこうした考えの中で各種教育施策を展開しているところです。</p> <p>こうした認識を明示化するため、48 ページの以下の下線部分を修正します。</p> <p>「②飛騨市ならでの教育と環境環境整備の推進 ●飛騨市産農畜産物等の地域資源を活用した教育を推進します。」</p>	<p>指針に反映します。</p>

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
32	52・ 53	大規模事業ということでそれなりの予算を費やすからには、それに対応するメリットを明示する必要があると思う。例えば、「農産物直売施設の建設」ですが、単に老朽したから建て直すとしか受けと止められません。ただ建て替えるのではなく、戦略があつてのことと思いますので、そのところは説明して理解してもらふべきではないでしょうか。	大規模事業は財源確保が大きな課題であり、財政運営の見直しにも関連があることから、第6章として列記しています。 それぞれの事業に対するメリットや戦略は、毎年の予算編成の中で議論し、市民の皆様には予算発表資料や市民との意見交換会等で説明していきます。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
33	54 ～ 57	事業実施指標の項目が、施策の方向性のどの部分（●の項目）にあたるのか分からないものがある。 施策の方向性と指標項目との関連を分かりやすくしてほしい。 例えば、1-Ⅱ新商品開発補助制度、起業化促進補助制度 施策の方向性では、「支援」「支援体制の構築」とされているので、補助ではなく支援とすべきでは。 補助金のことを示しているかわかりませんが、支援の方法としていろんなケースが考えられるので。 1-Ⅲフードダイバーシティに対応した 理解はできますが唐突的です。フードダイバーシティという背景があるのですから、政策の方向性に明記すべきでは。	指針はあくまでも方向性を示すものであり、「支援」には補助金などの財政支援もあれば、人的な支援など様々な要素を含んでいます。一方で評価指標は、具体的に明示する必要があることから「補助制度」といった記載にしております。 フードダイバーシティに関する取り組みは、令和元年度から取り組みをスタートさせており、その背景については予算発表資料や市民との意見交換会等で説明させていただいておりますが、より明示化するため、38ページに以下のように下線部分を追記します。 「①観光客のニーズにあわせた受入環境整備の推進 ●……誰もが楽しめる観光地づくりのため、ネットインフラの整備や食の多様性（フードダイバーシティ）への対応など、ハード・ソフト両面のバリアフリー化を促進します。」	指針に反映します。
34	59	1. 元気な飛騨市づくりの評価指標項目「観光入込客数」は、適当ではないと思います。 第2章現状と課題のⅡ観光において、観光消費単価が非常に低い現状にあるとして、飛騨市内でお金の消費を課題としているにもかかわらず、入込客数を指標項目としても本来目的とする評価にはなりません。政策の方向性にも宿泊環境の整備支援と明記されており、客観的に評価するには、宿泊者数とするのが妥当です。	観光分野においては、観光消費単価が非常に低い現状にあるとして、飛騨市内でお金の消費を課題にあげております。 59ページに掲げている評価指標は、観光分野のみならず、「元気な飛騨市づくり」の全てをまとめて評価する観測指標として設定しておりますが、より明示化するため、58ページに記載の「観光宿泊者数（総数・外国人）」を59ページの「基本目標に対する理想値」に追記します。	指針に反映します。

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
35	全般	「飛驒市」が正式名称にもかかわらず、未だに「飛驒市」が使用されていますが、いかがなものか。一つの見方として、市民自身が「驒」を否定していると捉えられても仕方がないのでは。これでは、「誇りの持てる飛驒市づくり」の前提を崩してしまうと思います。	市民の皆様に広くご覧いただくために、見やすい標記として「驒」の文字を使用しています。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
36	全般	パプコメで寄せられた意見は、どのように処理されるのでしょうか。意見に対する結果はどうであれ、市役所内でどこまで共有され、どこまで検討されるのかは、知りたいところです。	いただいた意見は、市長以下全職員で共有し、個人名は伏せた上で総合政策審議会においても公表いたします。また、今後各事業を計画・実施・検証していく上での参考とさせていただきます。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
37	32・35	32ページでは、行財政改革事務事業の見直しとしてICT及びRPAに触れられ、35ページでは、産業支援としてICT等の活用に触れられていますが、人口減に立ち向かうためにも、その武器となるICT等は非常に大切であると考えられることから、文中「ICT等」とまとめてありますが、Society5.0、IoT（Internet of Things）、5G（第5世代移動通信システム）という言葉をご採用いただき、より積極的に指針として示されることを希望いたします。 またそれらは、子どもたちが学校教育の場で学ぶことも当然ですが、圧倒的スピードで技術革新がなされ、数年前の知識が通用しなくなる時代においては、成人から高齢者まで生涯にわたって体系的に学べる環境の構築が望まれます。これは利益を伴う産業分野に限らず、一般市民の生活の質を上げるものでもあると考えられることから、「ICT等の学び」についても指針として示されることを希望いたします。	まさに市としても、全ての分野におけるICT等の活用と市民の生活の質の向上を目指すものとして考えており、より明示化するため43ページ以下を追記します。 「①暮らしに必要な公共サービスの維持と…… （全体） ●Society5.0の具現化に向け、全ての分野におけるIoT、5G、ロボットなどの活用と市民が活用しやすい環境整備を推進します。」	指針に反映します。

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
38	24	「歴史分野においては」以下の部分について、2城館群のことのみが記述され、飛騨市の多くの歴史遺産、遺跡の活用について、全く記述されていないのは、大きな括りとしては適当ではない。	現在、市が着手している2城館群を主として、多くの歴史遺産の更なる事業の推進を図ることとしており、より明示化するために24ページに以下のように下線部分を追記いたします。 「重要な文化財として、 <u>多くの歴史遺産、遺跡と合わせ、更なる事業の推進が求められています。</u> 」	指針に反映します。
39	28	「将来像実現のための基本姿勢」について、誰が行うのかという大切な要素が欠けている。 (1)②協働によるまちづくりでは誰が協働するのか描かれていない。 (2)新しい価値を創造するのは誰か、連携型の市政をするのは誰か、明示することにより基本姿勢が強くなる。 (3)全国モデルとなる挑戦を続けるまちづくりは誰が主体的に行うのか、明確にしてほしい。	「将来像実現のための基本姿勢」の主体は市役所です。 自分で解決する「自助」から、家族で支援する「互助」、地域で支援する「共助」、最後には行政が主体となって支援する「公助」というように、個人、個人が構成するグループ、更に大きなグループがそれぞれ満たすことができない部分に限って、より大きい又は上位のグループが順次介入すべきという「補完性の原理」によって、市民の皆様の活動やまちづくり、普段の生活の中で足らざる部分を補い最終的に支援することが行政の最大の責務であると考えています。 また、公的責務は、市民に最も身近な行政主体によって行われるべきだという「近接性の原理」に照らし合わせても、やはり、市が主体となり、市民生活を守るという責任を持って市政を運営する必要があります。 そうした意味でも、市役所が主体となりながらも、市民のみならず、飛騨市に関わる全ての方、企業・団体、大学などあらゆる方との連携と協働する中で一体となり実現していくものであると考えています。 この考え方を明示化するため、28ページに以下のように下線部分を追記します。 「こうした将来像の実現のため市が市政運営の主体となり、市民のみならず、 <u>飛騨市に関わる全ての方、企業・団体、大学などあらゆる方と一体となったまちづくりの中で、本市の市政運営の基本となる……</u> 」	指針に反映します。

No.	頁	意見・提案	市の考え方	対応
40	39	「第21回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」において、飛騨産米が圧倒的な成績を収めた。飛騨産米のブランド化事業について、タイミングとして正に今が取り組む時と考える。	まさしく39ページの「①飛騨米など農作物の高付加価値化による販路拡大の推進」は、そうした認識を市も重要であるとの認識の中で取り組む事業であり、今後も積極的に推進していきます。	指針には反映しませんが、指針推進へのご提案として参考にさせていただきます。
41	31	ふるさと納税を活用して、創造的取り組みで飛騨市の活性化を考えて頂きたい。「飛騨産米のブランド化」の大きな取り組みに使っていただきたい。	まさしく31ページの「②ふるさと納税の推進」に記載の内容は、地域製品のブランド化と販路拡大を視野に入れた更なる返礼品の充実に取り組むという認識であることから、より明示化するために31ページに下記のように下線部分を追記します。 「②ふるさと納税の推進 ……関係人口に関する諸施策の強化、 <u>地域製品のブランド化と販路拡大を視野に入れた魅力ある返礼特産品の……</u> 」	指針に反映します。

※ご意見は要約させていただいております。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※このシートに記載のページ数は、パブリックコメントによる意見を反映する前の「飛騨市総合政策指針（案）」のページ数です。